

高度実践公衆衛生看護学課程（指定規則） 科目概要と教育内容

2023年4月開設

学年	学期	単位数	科目名	教育内容	科目責任者
Ⅰ	春学期	2	公衆衛生看護学原論	地域で生活する様々な成長発達レベル、健康レベルにある、個人・家族・集団・地域を対象に健康レベルを向上させ、QOLを高めるための支援を展開する公衆衛生看護の役割と機能、倫理について学ぶ。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	春学期	2	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	地域で生活する人々（母子、成人、高齢者、精神、感染症、生活弱者）が抱える健康課題に応じた個人・集団・地域に対する公衆衛生看護の展開方法を学ぶ。また個人・家族と集団・地域を組み合わせた活動の展開方法について理解し、多様な人々の健康レベルに合わせたアプローチの方法を習得する。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	春学期	2	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	多様な人々の健康課題に即した事例展開について、必要な展開方法を学ぶ。また、公衆衛生看護活動を展開するために必要な家庭訪問・健康診査の知識・技術を習得し、対象に合わせてそれらの技術を組み合わせて公衆衛生看護を実践する方法を学ぶ。	望月由紀子 (看護学部・准教授)
Ⅰ	春学期	2	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	公衆衛生看護活動を展開するために必要な健康診査・健康相談・健康教育の知識・技術を習得し、対象に合わせてそれらの技術を組み合わせて公衆衛生看護を実践する方法を学ぶ。また、地域の特性や健康課題を明確化し、課題解決の方向性を見出すために必要な地域診断の目的・方法と一連のプロセスを学ぶ。	望月由紀子 (看護学部・准教授)
Ⅰ	春学期	2	公衆衛生看護管理特論	公衆衛生看護活動における保健師の管理的な機能として、公衆衛生看護管理の目的と展開方法を理解する。健康危機管理、情報管理、組織・運営管理、人材育成、地域ケアシステム構築、公衆衛生看護学研究について学び、保健師に必要なマネジメント能力を養う。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	1	健康政策特論	保健医療制度の概要を知り、健康に関する国の施策を政策論と実際の行政の側面から理解し、人々の疾病を予防し、健康を保持増進するための支援方法や方策を見出す力を養う。	藤原和美 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	2	保健医療福祉システム特論	国及び都道府県、市町村などの具体的な行政施策とそれぞれの役割を理解するとともに、保健医療福祉サービスを評価し、調整する基本的知識と能力を養う。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	1	保健医療福祉システム演習	模擬自治体の事例を通して、保健福祉計画の策定、実施、評価の計画立案を行い、保健師の役割と公衆衛生看護活動の展開方法の実際を学ぶ。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	2	疫学特論	健康問題の発生に関連する個人要因・環境要因・社会的要因や問題の広がりや深刻度をとらえ、原因の究明、対策の立案につなげる一連のプロセスを学び、問題解決方法を見出す力を養う。	坂本なほ子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	1	地域健康危機管理特論	公衆衛生看護活動における保健師の管理的な機能のうち、災害保健活動、感染症対応など健康危機管理について学び、多機関との連携調整を含む保健師に必要なマネジメント能力を養う。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	1	地域健康危機管理演習	公衆衛生看護活動における保健師の管理的な機能のうち、健康危機管理について、災害保健活動やパンデミックに対応できる感染症対応などについて、演習を通して実践に必要な技術を習得する。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	2	地域診断・ケアシステム特論	地域診断により健康課題を明らかにし、ケアシステムをアセスメントすることを通して、地域に必要な事業を企画し、施策化へと展開するケアシステム構築のプロセスを学ぶ。	岸恵美子 (看護学部・教授)
Ⅰ	秋学期	2	公衆衛生看護学実習Ⅰ	保健所・保健センターでの実習を通して、個人・家族と集団・地域と連動させながら、健康課題を解決していくための公衆衛生看護活動としての実践的な技術を習得する。	岸恵美子 (看護学部・教授)

1	秋学期	2	公衆衛生看護学実習Ⅱ	保健所・保健センターで行われる実習を通じて、地域の人々（個人・家族・集団・地域）の健康課題を明らかにし、健康課題を解決するための事業計画を立案、実施、評価する一連の公衆衛生看護活動としての技術を習得する。	坂本美佐子 （看護学部・講師）
1	通年	2	継続事例支援演習	母子（親子）保健や高齢者保健領域の継続的な家庭訪問により、信頼関係の深まりや、ニーズの変化、個人や家族の発達段階・課題に合わせて地域と連携しながら公衆衛生看護を展開するための技術を習得する。	坂本美佐子 （看護学部・講師）
1	通年	2	地区管理・組織支援演習	一地域をフィールドとして、地域における住民や関係機関・関係職種とかかわり協働することで、公衆衛生看護活動の地域での展開方法である地区活動や組織支援に必要な技術を習得する。	岸恵美子 （看護学部・教授）
2	春学期	2	産業保健・学校保健特論	産業保健・学校保健・地域包括支援センターなど多様な場で展開される公衆衛生看護活動を理解する。健康課題を明らかにし、課題解決に向けて基礎的な技術を学ぶ。	望月由紀子 （看護学部・准教授）
2	春学期	2	公衆衛生看護学実習Ⅲ	産業保健・学校保健・地域包括支援センターなど多様な場で展開される実習を通して、抽出された健康課題を、組織の特徴に応じて課題解決するために必要な技術を習得する。	望月由紀子 （看護学部・准教授）

東邦大学大学院看護学研究科 高度実践公衆衛生看護学課程